

2022年12月期 決算説明資料

2023年3月2日

株式会社グローバルインフォメーション

東京証券取引所スタンダード市場 4171



1. 会社概要
2. 2022年12月期 決算概要
3. 2023年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2024』

1. 会社概要
2. 2022年12月期 決算概要
3. 2023年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2024』

2022年12月31日現在

社名	株式会社グローバルインフォメーション Global Information, Inc.
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. 市場調査レポートの販売 2. 年間情報サービスの販売 3. 委託調査の受託 4. 国際会議・展示会の代理販売
経営理念	当社は最適な市場情報をタイムリーに提供することにより、お客様の意思決定を支援し、各業界の意義ある活性化に貢献し、ひいては社会の発展に寄与する。社員がひとりひとり責任と誇りを持って満足して働く環境を創出する。
設立	1995年1月
代表者	小野 悟
資本金	162,497千円
従業員数	62名（非正規社員、連結子会社含む）
連結子会社	1社（株式会社ギブテック）
株主数	1,381名

2022年12月31日現在

社名	株式会社ギブテック（英語表記：Giv-Tech, Inc.）
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. LPWAネットワーク機器の製造・販売 2. LPWA通信ネットワークの導入・運用支援サービス
設立	2020年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	83,250千円
主要株主	株式会社グローバルインフォメーション

**お客様にとって真に価値のある情報を精査し、
お届けすることが私たちの使命です。**

世界の先端分野の市場動向や技術動向。その最新情報を25年以上お届けしてきました。

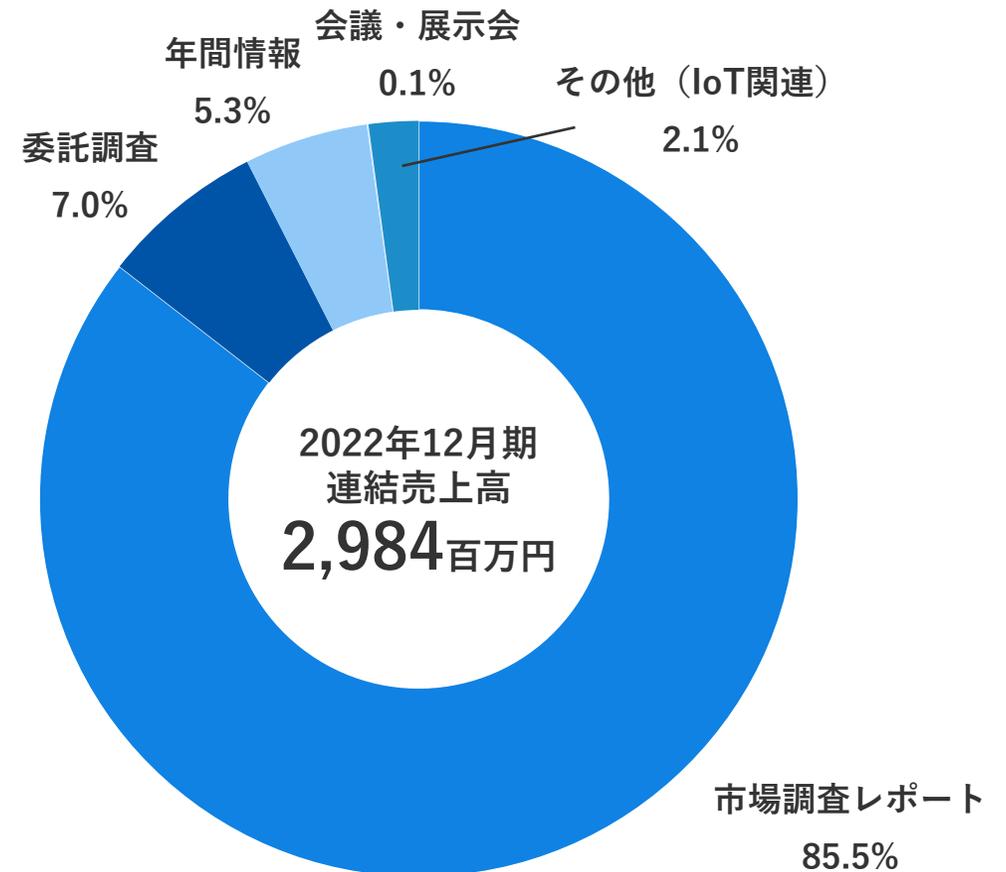
当社は世界5か国に拠点を持ち、200社を超える調査会社と代理店契約を締結する市場情報提供会社です。お客様の情報ニーズに的確にお答えする市場調査レポート、カスタム調査の提案を通じ、総合的な情報サービスを提供しています。お客様の意思決定を支援し、事業展開に寄与できる市場情報をタイムリーに提供し、各業界・産業界の活性化に「情報」というフェイズから貢献します。

市場調査レポート販売を主力とする「市場・技術動向に関する情報提供事業」に加え、連結子会社の株式会社ギブテックにて「その他（IoT関連）事業」を展開

■ 市場・技術動向に関する情報提供事業

- 市場調査レポート
- 委託調査
- 年間情報サービス
- 国際会議・展示会

■ その他（IoT関連）事業



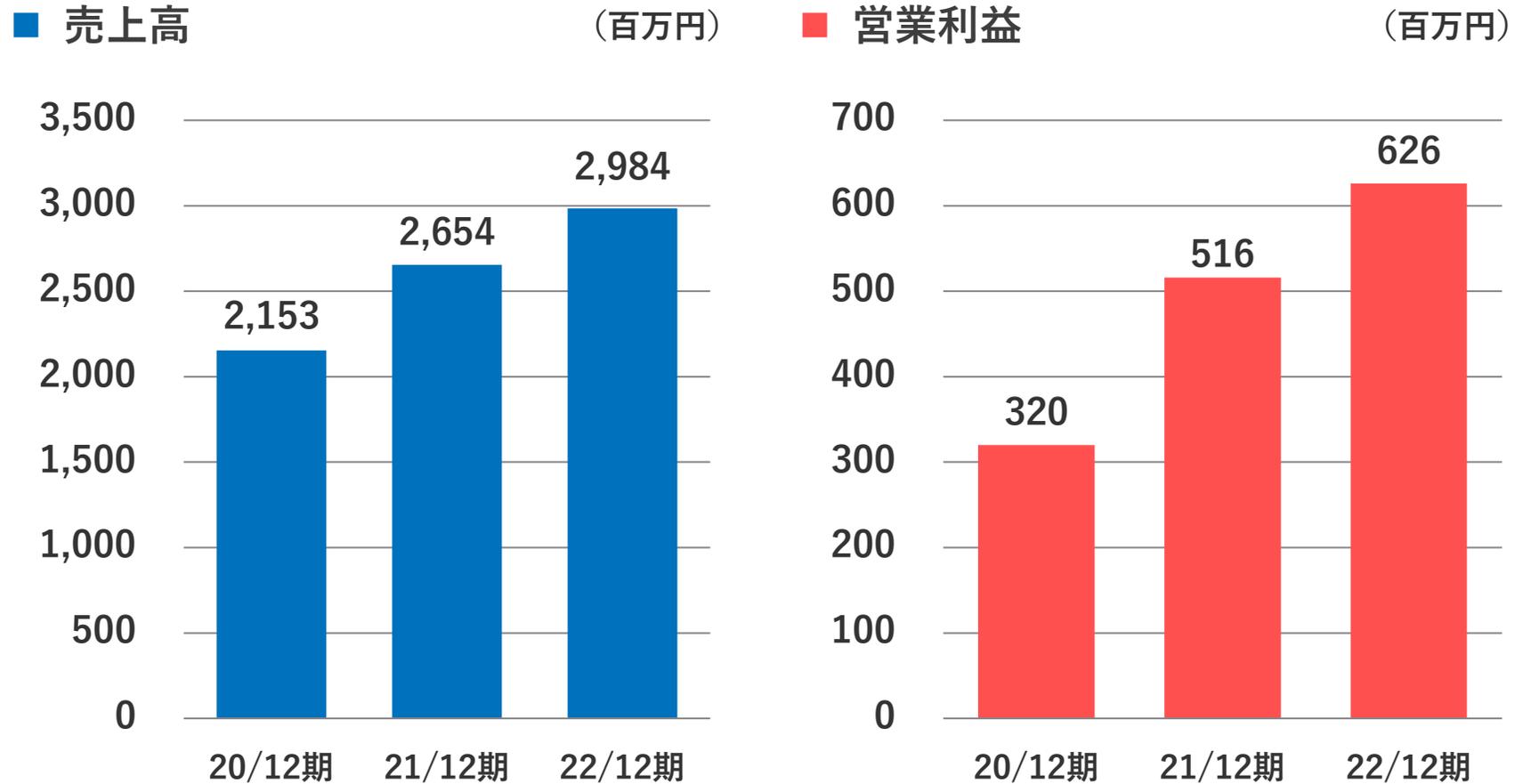
事業系統図

顧客から受注後⇒仕入先に発注となるため、在庫を持たないビジネスモデル



1. 会社概要
2. 2022年12月期 決算概要
3. 2023年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2024』

2期連続の大幅な増収・増益を達成 平均成長率は売上高+17.7%、営業利益+39.8%



2022年12月期 連結決算サマリー

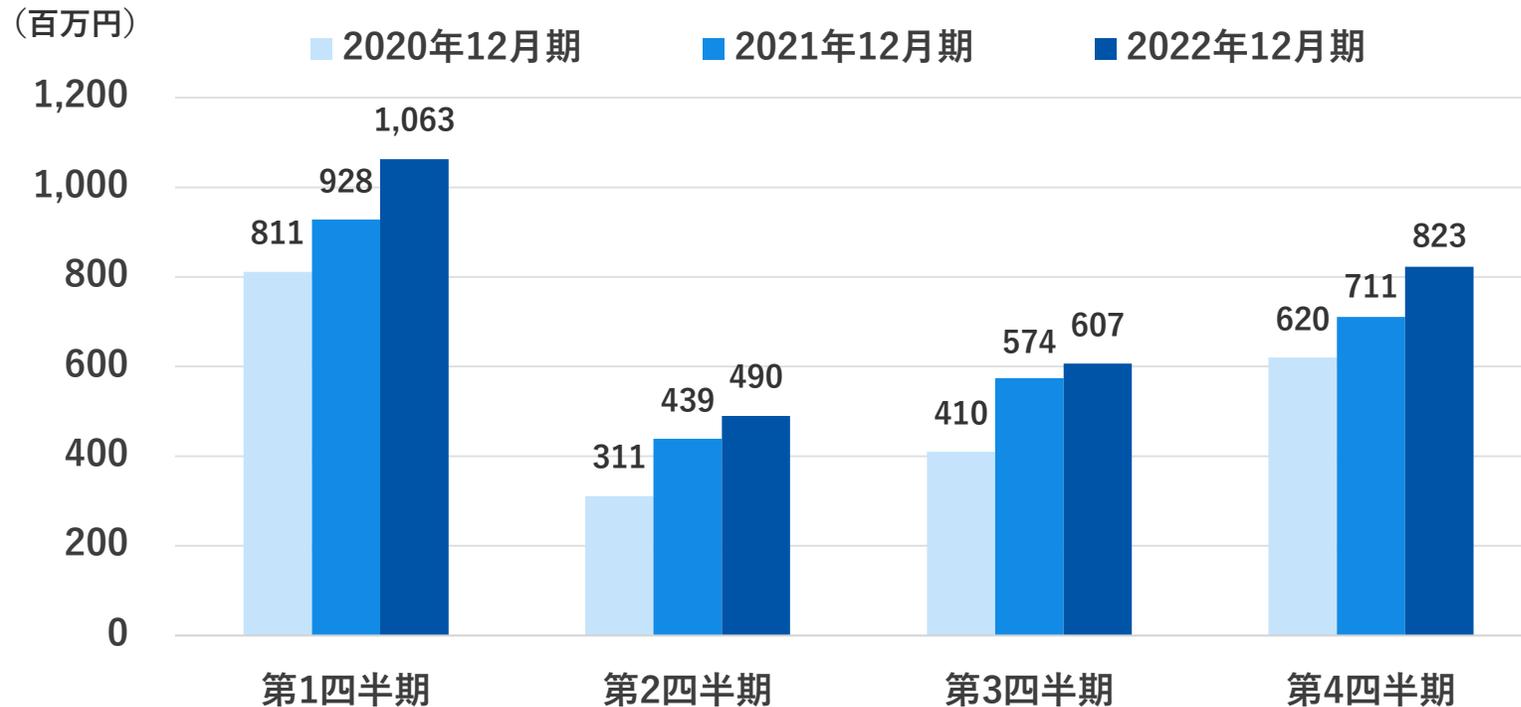
売上高：前期比12.5%増、営業利益：前期比21.5%増で増収・増益
 営業利益率は19.4%⇒21.0%に改善、ROEは目標である20%以上を維持

(百万円)	2021年12月期		2022年12月期		対前期 増減	対前期 増減率
		売上高比 (%)		売上高比 (%)		
売上高	2,654	—	2,984	—	330	+12.5%
売上総利益	1,210	45.6	1,390	46.6	180	+14.9%
販売費 及び一般管理費	694	26.2	763	25.6	69	+10.0%
営業利益	516	19.4	626	21.0	110	+21.5%
経常利益	553	20.8	648	21.7	94	+17.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	359	13.5	438	14.7	78	+22.0%
ROE	23.0%	-	22.9%	-	-	-

四半期ごとの売上高推移

各四半期の売上高はいずれも過去2期間を上回り、順調に進捗

■ 四半期ごとの売上高 (vs 過去2期間)

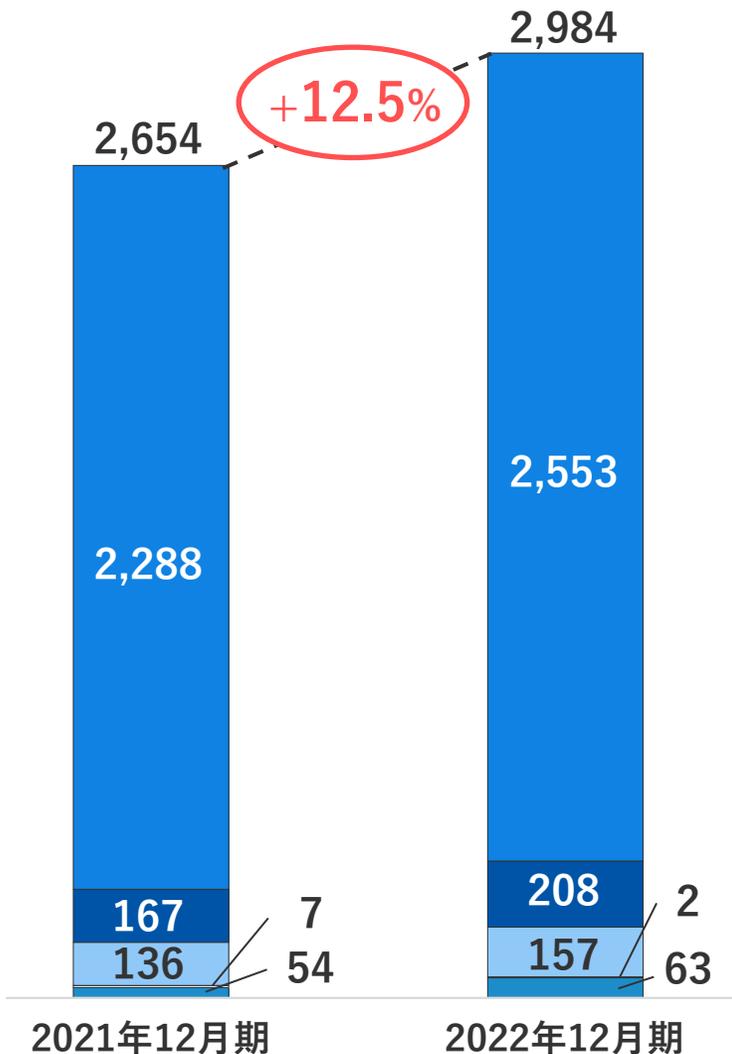


※2020年12月期の四半期ごとの数値は監査法人によるレビューを受けていないため、参考値となります。

各事業の状況

■ 事業区分別売上高

(百万円)



市場調査
レポート

継続的なSEO、AI翻訳ツール提供等の各種集客施策が奏功し、リード件数は前年対比で大きく増加。特に日本、韓国、台湾において、ドル高によるレポート単価上昇が響き、受注件数自体は前年度対比減少したものの、単価上昇により売上高は前年同期を**11.6%**上回った。

委託調査

レポート案件からのアップセル件数を増やし、受注件数、単価共に前年を上回った結果、売上高は前年同期比**24.3%**増加となった。

年間情報
サービス

ドル高影響による受注件数の減少を単価上昇によりカバーし、売上高は前年同期を**15.7%**上回る結果となった。

国際会議
・展示会

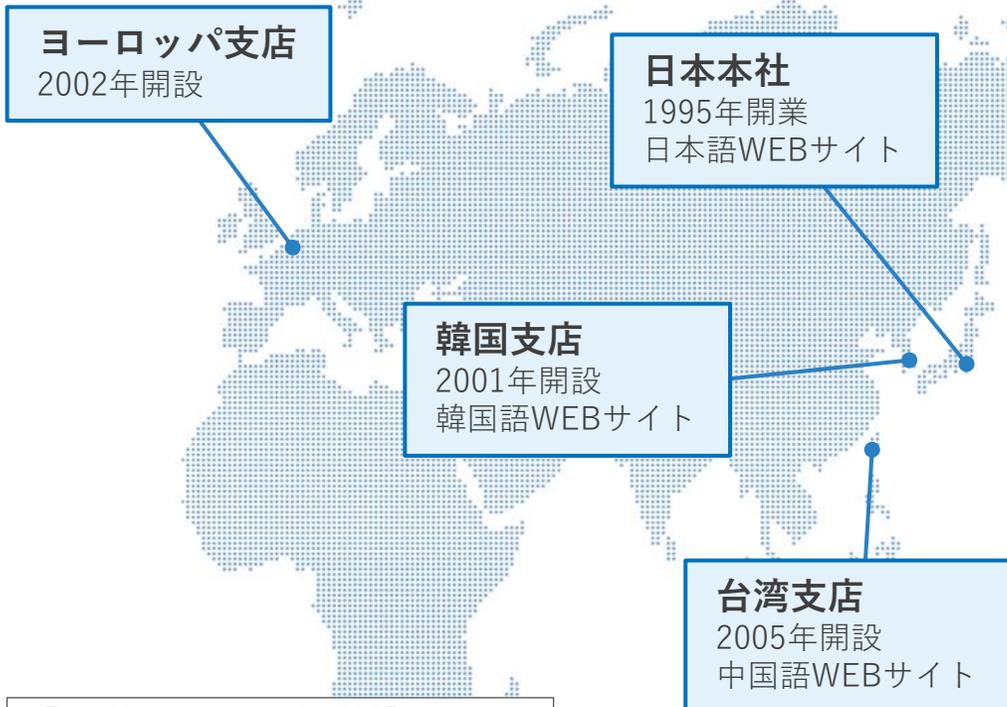
欧米等で対面での会議・展示会が再開され始めるも、日本、アジア圏から海外渡航を伴う会議参加は依然難しい状況が続く。
2023/12期以降、徐々に会議・展示会の取り扱いを再開予定。

その他
(IoT関連)

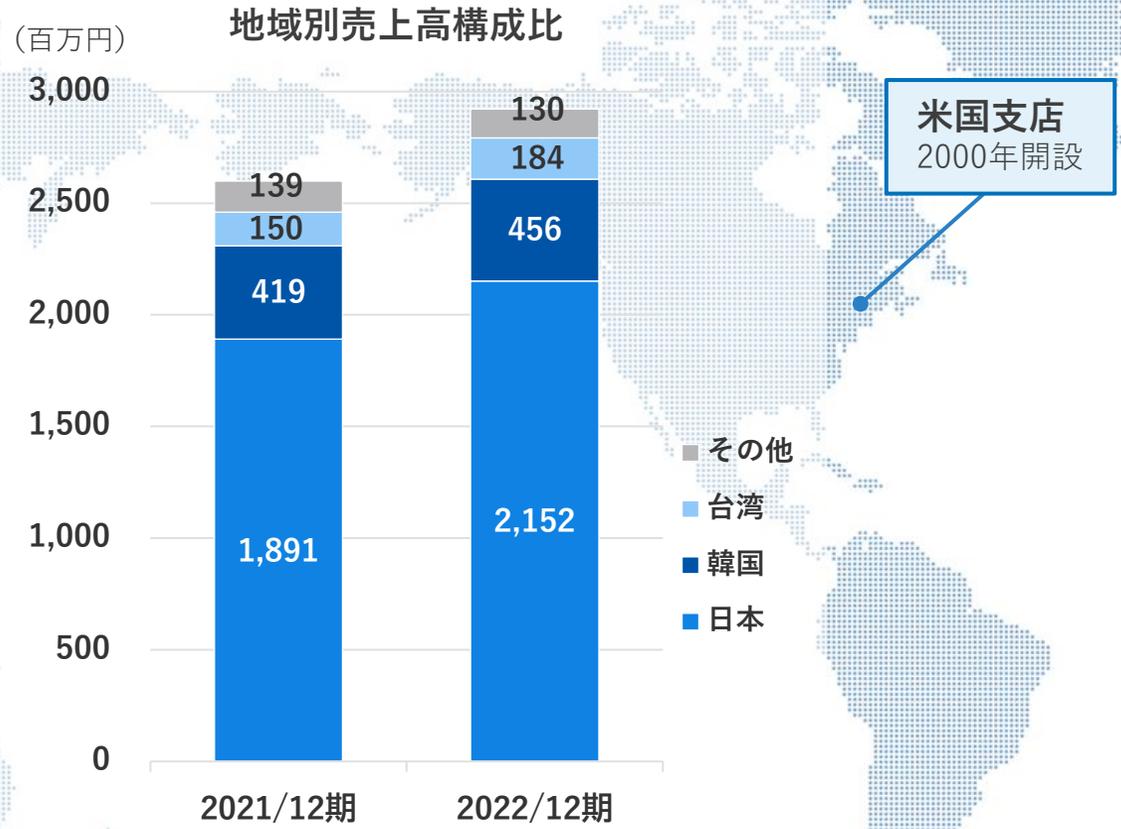
顧客の設備投資計画の遅れ等により、当初計画未達。粗利益率の高い自社ブランド製品の売上が増えたことで営業利益（損失）は改善。

拠点別売上高構成

日本国内で7割強、韓国・台湾を含むアジア圏での売上高比率は約95%



- 【多言語WEBサイト展開】
- 日本語 - gii.co.jp
 - 英語 - giiresearch.com
 - 韓国語 - giikorea.co.kr
 - 中国語（繁） - gii.tw
 - 中国語（簡） - cn.gii.tw

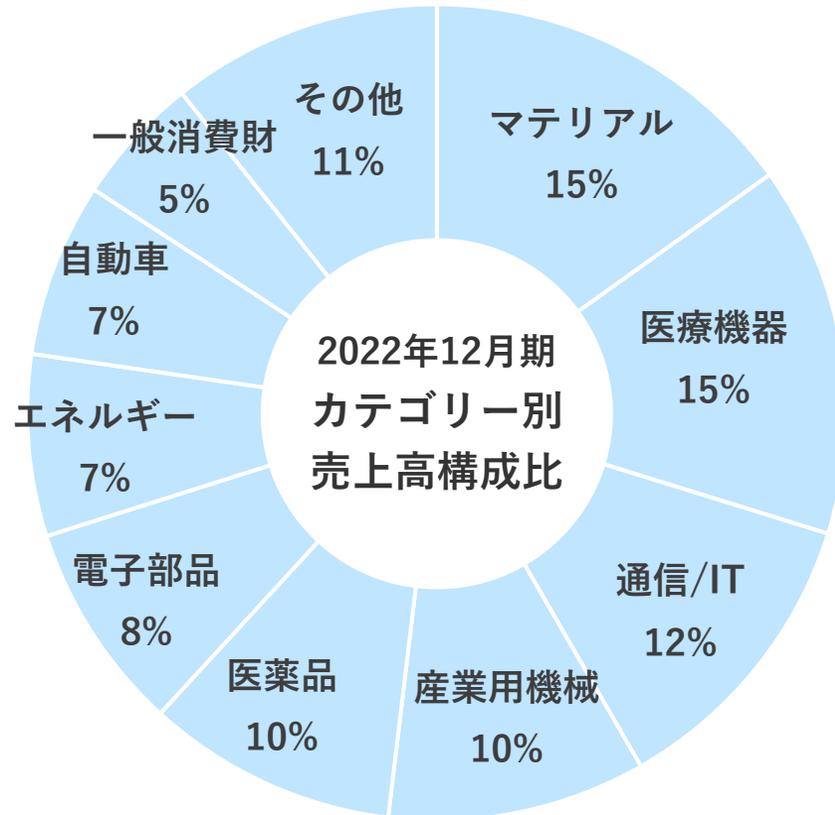


米国支店
2000年開設

カテゴリー別売上高構成

「**マテリアル**」「**医療機器**」「**通信・IT**」等の人気カテゴリーの売上は引き続き好調
 「**産業用機械**」は今期売上が増え、「**医薬品**」の売上を抜く

カテゴリー別売上高構成比及び調査トピック例



カテゴリー	調査トピック（一例）
マテリアル	生分解性プラスチック、バイオベース化学品、レアアース
医療機器	分子診断検査、眼内コンタクトレンズ、体外診断（IVD）
通信/IT	メタバース、人工知能（AI）、サイバーセキュリティ
産業用機械	無人搬送機（AGV）、協働ロボット、SCADA、分離膜
医薬品	mRNAワクチン、エクソソーム、分子標的薬、核酸医薬
電子部品	ハプティクス、新紫外線LED、バイオセンサー、MEMS
エネルギー	Liイオン電池、分散型エネルギー資源（DER）、水素発電
自動車	自動運転、LiDAR、ミリ波レーダー、V2X、電動トラック
一般消費財	家庭用ロボット、ウェブトゥーン、化粧品OEM・ODM
食料・飲料	代替たんぱく質、食料トレーサビリティ、植物性代替肉
航空・宇宙	アンチドローン、eVTOL、水中ドローン、宇宙デブリ除去
インフラ	高圧直流送電、水ビジネス、鉄道インフラメンテナンス
金融・保険	エンベデッドファイナンス、サイバー保険、DeFi

自己資本比率は74.5%となり、引き続き財務状況は健全

(百万円)	2021年12月期末	2022年12月期末	前期末比 増減
資産合計	2,529	2,751	221
流動資産 (うち 現金及び預金)	2,441 (2,091)	2,667 (2,235)	226 (144)
固定資産	88	83	▲4
負債合計	754	701	▲53
流動負債	492	424	▲67
固定負債	262	276	14
純資産合計	1,775	2,050	275
自己資本比率	70.1%	74.5%	—

1. 会社概要
2. 2022年12月期 決算概要
3. 2023年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2024』

セグメント・事業区分		要 因	売上高 前期比見通し
市場・技術動向に 関する情報提供事業	市場調査レポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ウェブサイト掲載商品ラインナップの拡大 ✓ レポート本文翻訳のためのAI翻訳ツール無償提供 ✓ AIチャット対策を含む検索エンジン対策（SEO）強化 ✓ GIIブランドの認知度向上 ✓ 円安緩和によるレポート受注数量増加を期待 	<p>+14% (+405百万円)</p>
	委託調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ レポートのカスタマイゼーション対応から単価の高い委託調査案件へのアップセルを狙う ✓ ウェブサイト委託調査ページコンテンツの拡充 	
	年間サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存契約のリニューアルに加え、通常レポートからのアップセルにより受注増を狙う 	
	国際会議・展示会事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外渡航規制緩和にあわせて取り扱い商品を徐々に拡大 	
その他（IoT関連）事業		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 凸版印刷株式会社『e-Platch™』への製品本格納入開始 ✓ 地方自治体によるスマートシティ案件の受注も見込む ✓ その他、ZETAアライアンス加盟企業を中心としたIoTプロジェクトへの製品納入 	<p>+170% (+106百万円)</p>

『GII Vision 2024』の2年目となる今期は売上高+17.2%、営業利益+19.2%を見込む

(百万円)	2022年12月期		2023年12月期 (予)		前期比 増減	対前期 増減率
		利益率 (%)		利益率 (%)		
売上高	2,984	—	3,497	—	512	+17.2%
営業利益	626	21.0	747	21.4	120	+19.2%
経常利益	648	21.7	748	21.4	100	+15.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	438	14.7	498	14.2	60	+13.7%
一株当たり配当金 (円)	45.00	—	52.00	—	—	—

1. 会社概要
2. 2022年12月期 決算概要
3. 2023年12月期 業績見通し
4. **中期経営計画『GII Vision 2024』**

中期経営計画『GII Vision 2024』重点施策

- ① 収益基盤の強化
- ② 次なる成長に向けた投資
- ③ ESGを意識したSDGs経営の推進
- ④ 目標とする経営指標の達成
- ⑤ 株主価値の向上

◆ 2024年12月期 連結業績目標数値

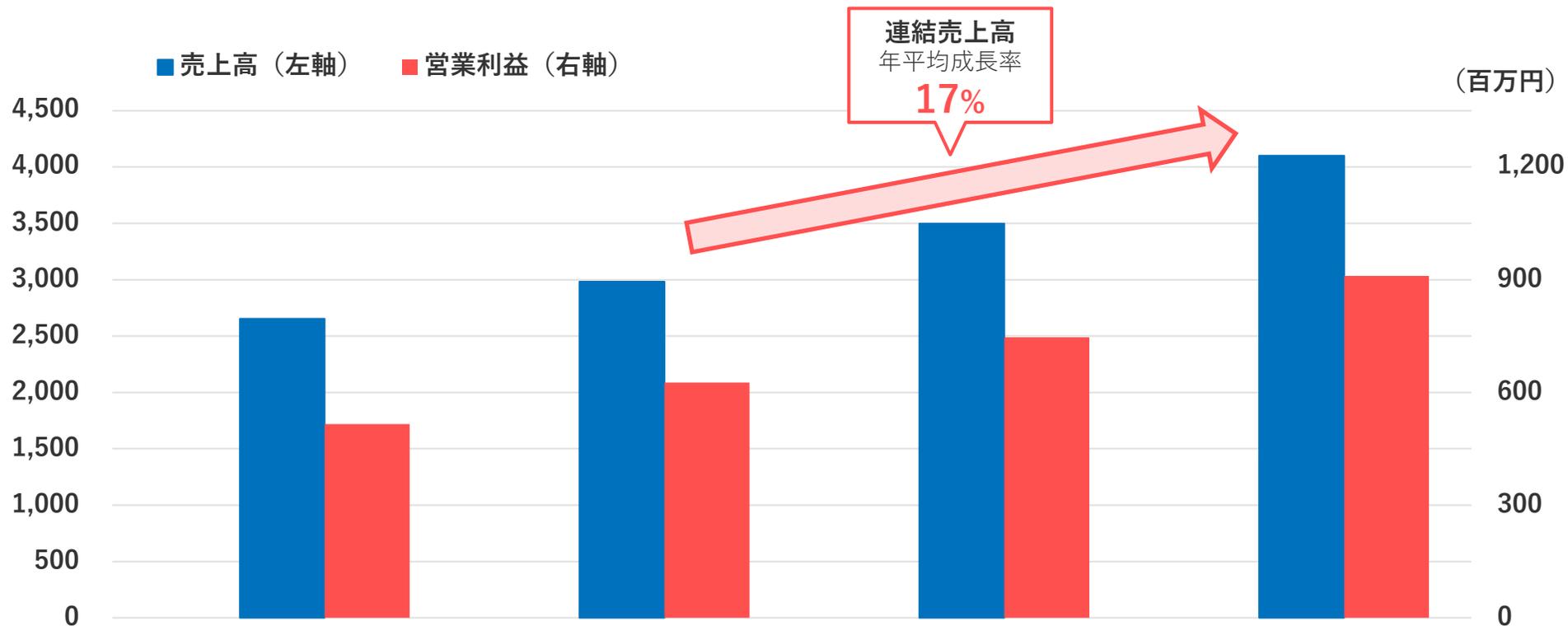
売上高 41億円

営業利益 9億円

営業利益率 22%

ROE 20%以上

経営数値目標（連結）



(百万円)	2021年12月期 実績	2022年12月期 実績	2023年12月期 計画	2024年12月期 計画
売上高	2,654	2,984	3,497	4,100
営業利益	516	626	747	910
営業利益率	19.4%	21.0%	21.4%	22.2%
ROE	23.0%	22.9%	20%以上	
配当性向	25.1%	30.3%	30.8%	30%以上

ウェブ掲載レポートラインナップ拡大

機械翻訳ツールの活用により商品紹介ページの作成スピード大幅UP

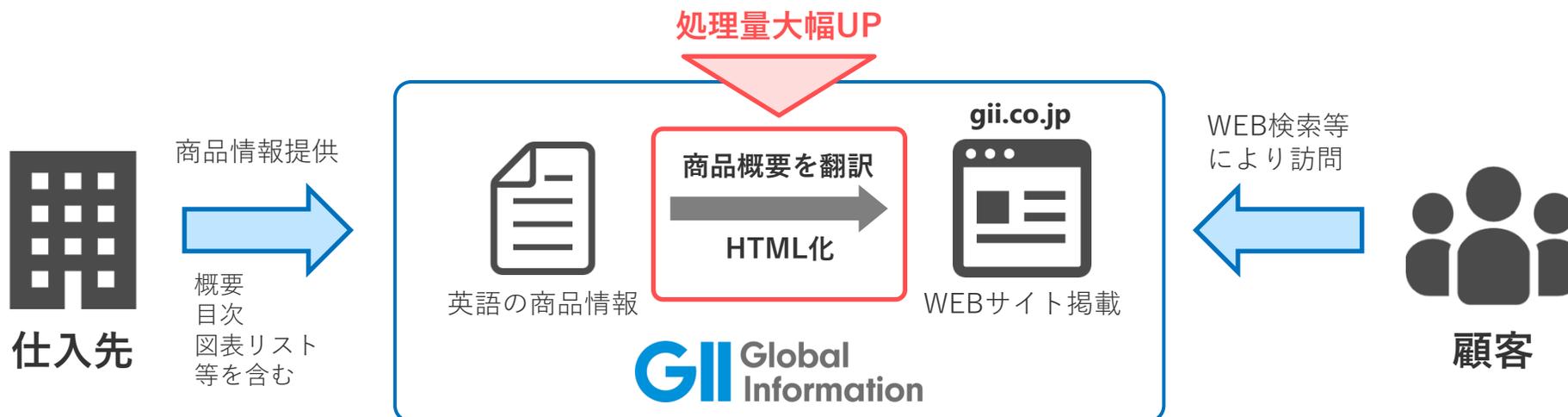
機械翻訳ツールの活用等の取り組みにより商品紹介ページ作成スピードは**約2.7倍**に向上

2022年12月末時点におけるウェブサイト掲載商品数は**14万点超**

顧客の情報ニーズに合わせてレポートの一部カスタマイゼーションにも対応（原則無償）

当社WEBサイト商品掲載の流れ

2021年作成数：38,000件 ⇒ **2022年作成数：102,000件**



レポート本文の翻訳（英→日）を行うAI翻訳ツールをレポート購買顧客に無償提供

約14万点ほぼ全てのレポートについてAI翻訳ツールを提供中 サービスの認知度も高まり、利用率は徐々に向上中

7.1 Overview

The chapter covers the analysis of the global in-silico drug discovery market with respect to different regions, namely North America, Europe, Asia-Pacific, Latin America, and Rest-of-the-World. The chapter focuses on a country-level analysis and provides the market size of various countries in terms of value. Additionally, the chapter also provides details regarding the application of in-silico drug discovery in various regions. The chapter identifies the key growth enablers based on a detailed push-and-pull force analysis. The segment analyzes the ongoing trends in the major regions by probing into the past and present ribonucleic acid manufacturers in their respective regions.

The countries included in the North America region are the U.S. and Canada. The countries included in the Europe region are Germany, the U.K., France, Italy, Spain, and Rest-of-Europe. The countries included in the Asia-Pacific region are China, Japan, Australia, India, South Korea, and Rest-of-Asia-Pacific. The countries included in Latin America are Mexico, Brazil, and Rest-of-Latin America.

Figure 19: Global In-Silico Drug Discovery Market (by Region), \$Million, 2020-2031



AI翻訳
英語⇒日本語

7.1 概要

本章では、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋、ラテンアメリカ、Rest-of-The-Worldといったさまざまな地域について、グローバルなin-silico創薬市場の分析を取り上げる。本章では、各国レベルの分析に焦点を当て、各国の市場規模を価値の観点から提示する。さらに、本章では、さまざまな地域におけるインシリコ創薬の応用についても詳しく説明する。本章では、詳細なプッシュ・アンド・プルカ分析に基づいて、主要な成長要因を特定する。当セグメントでは、各地域のリボ核酸メーカーの過去と現在の動向を調査し、主要地域で進行中の動向を分析します。

北米地域に含まれる国は、米国とカナダです。欧州地域に含まれる国は、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、スペイン、Rest-of-Europeである。アジア太平洋地域に含まれる国は、中国、日本、オーストラリア、インド、韓国、その他のアジア太平洋地域である。ラテンアメリカに含まれる国は、メキシコ、ブラジル、その他のラテンアメリカである。

図表19:世界のInsilico Drug Discovery Market (地域別)、2020~2031年、百万ドル



日経電子版、その他複数の媒体に社名・サービス認知広告を出稿

潜在顧客のサービス認知度を高めることで、検索エンジン等を通じたウェブ経由のリード獲得効率が高まることを期待



日経電子版トップページ (<https://www.nikkei.com/>) より

海外支店売上の拡大

米ウェブデザイン会社に委託し、欧米圏のユーザーに好まれ易いデザインにリニューアル
リニューアル後、徐々にリード数も増えており、今後の売上拡大を見込む

韓国・台湾域内の顧客からの英語ウェブサイトを通じた問合せも多く、米国・欧州以外の事業への好影響も期待

リニューアル前

The screenshot shows the old website interface. The header includes the GII logo and navigation links like 'Research Category', 'Publisher List', 'Custom Research', 'User Guide', 'About Us', and 'Contact Us'. A search bar is present. The main content area displays a report titled 'Metaverse Market by Component (Hardware, Software (Extended Reality Software, Gaming Engine, 3D Mapping, Modeling & Reconstruction, Metaverse Platform, Financial Platform), and Professional Services), Vertical and Region - Global Forecast to 2027'. Below the title, there are buttons for 'Sample' and 'Inquiry'. A 'License/Price' table is visible on the right side of the report page.

License/Price	Price
PDF (Single User License)	USD 4950
PDF (5-user License)	USD 6650
PDF (Corporate License)	USD 8150
PDF (Global License)	USD 10000



リニューアル後

The screenshot shows the new website interface. The header is more modern and includes a search bar with the text 'Search market reports by industry, keyword, etc.'. The main content area displays a report titled 'Material Informatics Market by Technique (Statistical Analysis, Genetic Algorithm, Deep Tensors, Digital Annealers), Elements (Metals, Alloys), Chemicals (Dyes, Polymers, Biomolecules), Application (Chemical, Pharmaceutical) - Global Forecast to 2028'. Below the title, there are buttons for 'Get a Free Sample' and 'Get More Info'. A 'SELECT AN OPTION' sidebar is visible on the right side of the report page.

Select an Option	Price
PDF (Single User License)	USD 4950
PDF (5-user License)	USD 6650
PDF (Corporate License)	USD 8150
PDF (Global License)	USD 10000

中長期的な持続的成長と経営環境の変化に耐えうる経営基盤充実のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする

	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (予定)	2024年12月期 (計画)
配当性向	30.3%	30.8%	30%以上
一株あたり配当金 (円)	45.00	52.00	-

株式会社ギブテック 事業内容

IoTネットワーク内で利用される低消費電力広域無線通信 (LPWA) に関する事業 中でも、ZETA (ゼタ) 通信と呼ばれる無線通信規格を取り扱う

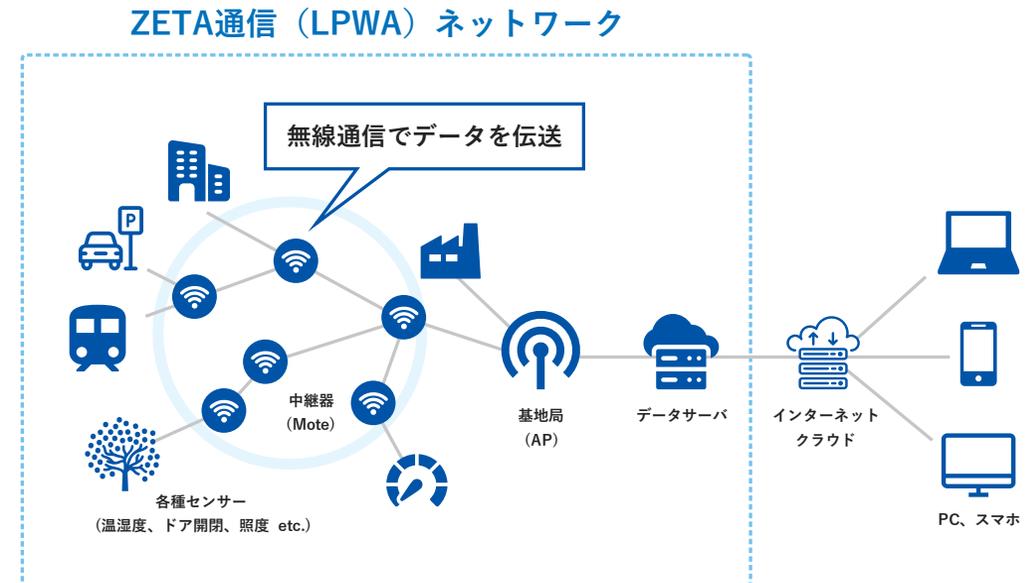
ZETA通信とは…

ZiFiSense社が開発した新しいLPWAネットワーク規格

- 超狭帯域による多チャンネルでの通信
- マルチホップ・メッシュネットワークによる分散アクセス
- 双方向での低消費電力通信

ZETA Alliance (ZETAアライアンス)

日本国内でのZETA通信技術の活用推進、普及促進を行う。
2023年3月時点で加盟する企業・団体数は約120。



■ ZETA通信 (LPWA) の活用例

✓ スマートビルディング

温度・湿度、漏水検知、ドア開閉センサー等からのデータをZETA通信で受信し、遠隔制御が可能。ビル管理、警備に掛かる**コスト削減**。

✓ スマートファクトリー

工場内の各種計装類からのデータをZETA通信でリアルタイム受信。人員削減による**コスト削減**やリアルタイム管理による**生産効率改善**。

✓ スマート防災

河川の水位等を遠隔地からリアルタイムに監視可能。自然災害の兆候をいち早く察知することで、**被害を未然防止**。

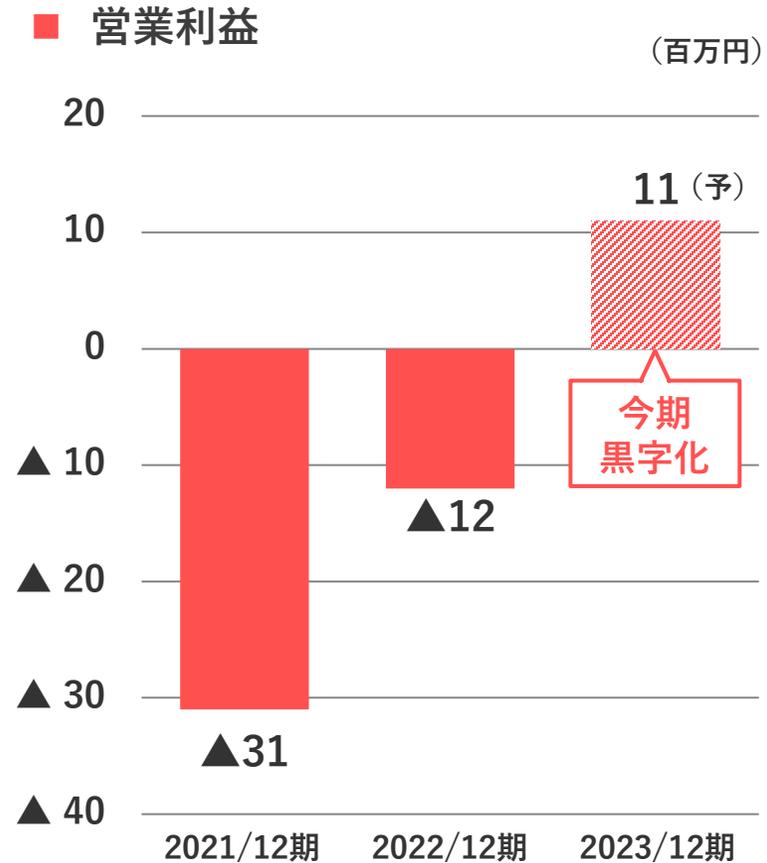
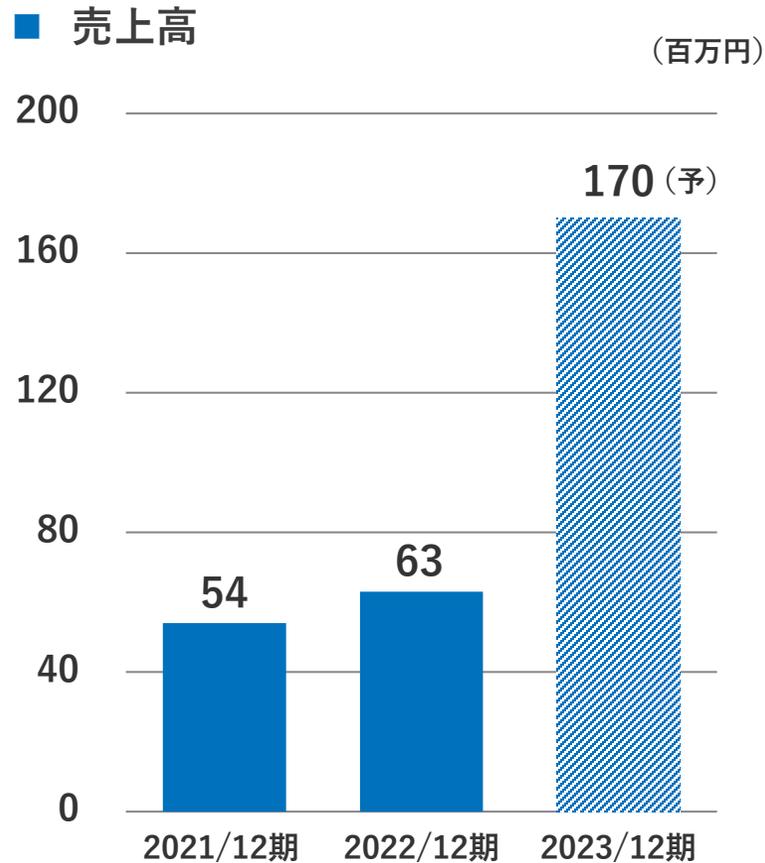
事業系統図

自社ブランド「JAZE」製品の販売とZETAネットワーク導入に係る技術サービスを提供



2023年12月期 子会社単体業績見通し

利益率の高い自社製品の販売が増え、売上高は対前期プラス、営業利益（損失）も改善
 前期受注を見込んでいた案件が後ろ倒しとなり、売上高大幅増加、黒字化見通し



凸版印刷株式会社 e-Platch™ (イープラッチ) への製品採用

工場環境保全業務向けDXソリューションへギブテック社製品 (製造受託含む) が複数採用 今期、本格的な拡販にあわせて製品出荷も大きく増える見込み

凸版印刷株式会社ニュースルーム 『凸版印刷、「プラントショー-OSAKA」に初出展』より抜粋

① 環境保全DXソリューション「e-Platch™」

「e-Platch™」は、化学プラントなど製造工場において、排水の水位や水素イオン濃度を始めとする環境データを自動収集し、工場全体のリスクマネジメントを強化する統合的監視システムです。次世代LPWA（低消費電力広域ネットワーク）規格ZETA（ゼタ）（※1）を活用し、入り組んだ構造の工場に「死角のない無線通信ネットワーク」を構築します。2022年6月のコンセプト発表（※2）後、約20社の顧客における先行検証を経て完成度を高めてきました。「プラントショー-OSAKA」では、以下の製品の実機展示・デモンストレーションを行います。

- ・ZETA通信対応 温度・湿度・照度・CO2濃度マルチセンサ（初出展）
- ・「環境データ閲覧システム」アプリ（デモンストレーションは初出展）
- ・データ変換機器「ZETABOX™」防爆仕様（初出展、協力：株式会社ギブテック）

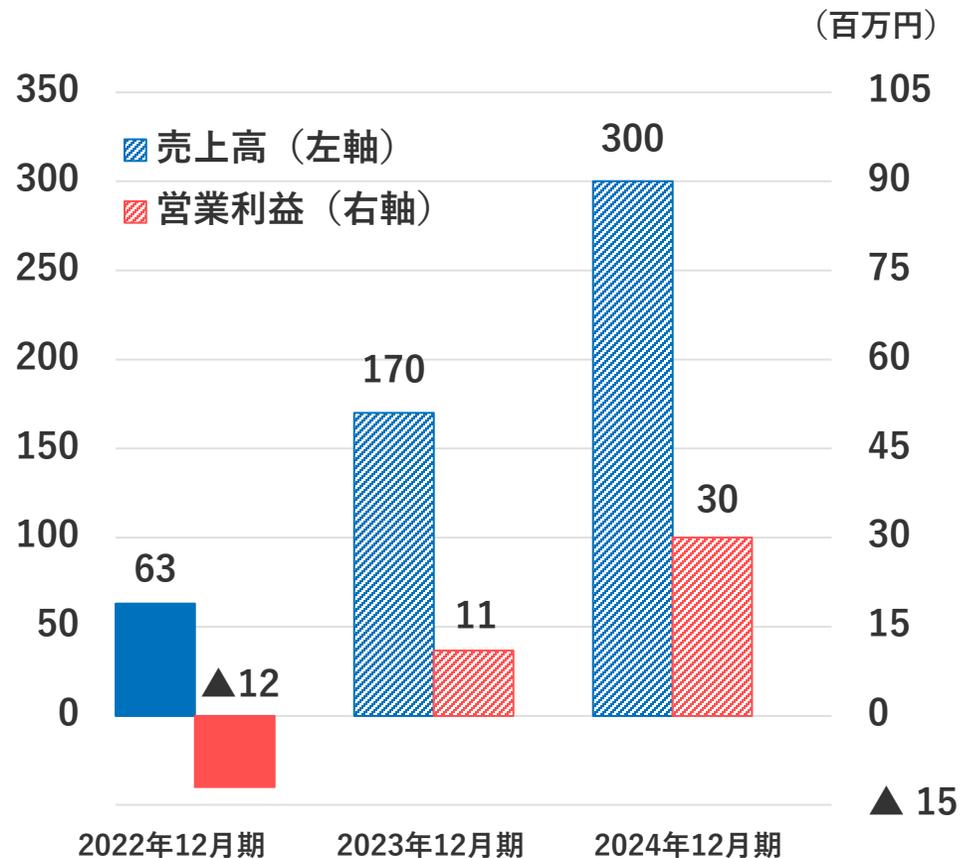
左から「ZETA通信対応 温度・湿度・照度・CO2濃度マルチセンサ」、「環境データ閲覧システム」、「ZETABOX™防爆仕様」

子会社単体 中期利益計画

顧客企業の設備投資計画の遅れ等の要因により利益計画はほぼ一年後ろ倒し

各アクションプランの着実な実行により中計最終年度に売上高 300百万円、営業利益 30百万円

■ 株式会社ギブテック 売上高・営業利益計画



■ 子会社関連 中期経営計画アクションプラン

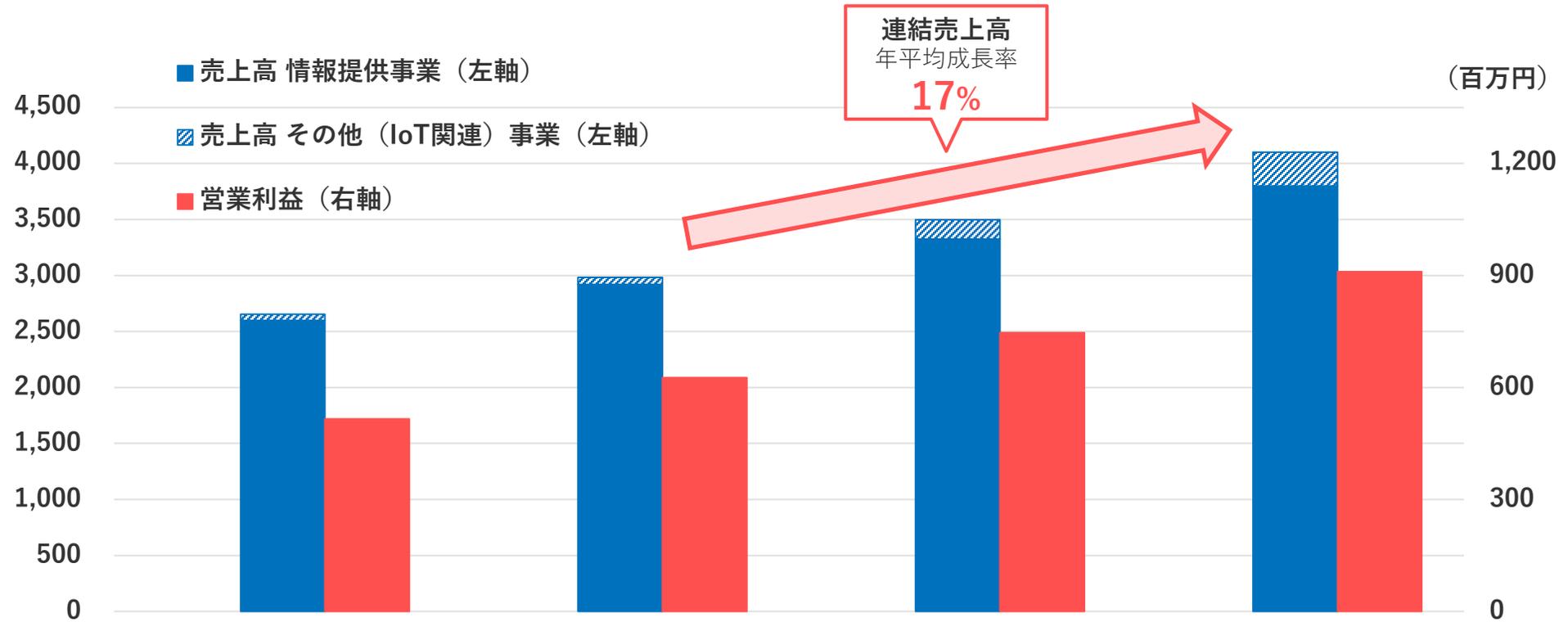
スマートファクトリー、ビルディング、物流向け製品の開発・販売による早期黒字化

国内外のスマートシティ案件に対する取り組みの強化

日本製デバイスブランド「JAZE」シリーズの製品ラインナップ拡充

技術系社員の採用・教育による製品開発力の強化

経営数値目標（連結）



(百万円)	2021年12月期 実績	2022年12月期 実績	2023年12月期 計画	2024年12月期 計画
売上高	2,654	2,984	3,497	4,100
営業利益	516	626	747	910
営業利益率	19.4%	21.0%	21.4%	22.2%
ROE	23.0%	22.9%	20%以上	
配当性向	25.1%	30.3%	30.8%	30%以上

■ 本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料発表当日現在で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

お問合せ先

株式会社グローバルインフォメーション 管理部 IR担当

E-mail: cpd@corporate.gii.co.jp

IRサイト: <https://corporate.gii.co.jp>